

施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 **8**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	II	環境循環都市
施策名	①	自然環境の保全と創造

所管部局	所管部局長の氏名
市民部	石嶋 政博
農林水産環境部	吉岡 茂昭

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市地球温暖化対策実行計画	地球温暖化対策推進法第21条に基づき、京丹後市のすべての事務・事業に関し、温室効果ガスの排出の抑制等の措置を行うことにより、地球温暖化対策の推進を図ることを目的に策定	平成18年2月	平成18年度～平成22年度	第2期計画を策定予定(平成26年度)
京丹後市環境基本計画	本市の環境に関する状況や市民・事業者等の環境に対する意見等を把握したうえで、本市の特性を生かし、環境の保全と環境資源を利用した地域活性化を目指した将来の目標を定めるとともに、その実現のための施策を効果的に推進することを目的に策定	平成22年2月	平成21年度～平成30年度	重点プロジェクトの期間は、平成25年度まで

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があつて(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うこと(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	ライフスタイルや産業構造の変化による自然環境への悪影響	市民・事業者を対象とした清掃活動への参加要請、自然環境保全意識の啓発	自然環境、生活環境の調和	1 豊かな自然・農山漁村環境の継承 2 地球温暖化防止対策の推進
2	温室効果ガスの排出等による地球温暖化問題、枯渇性のある化石由来燃料からの脱却	市民・事業者を対象とした節電、節水、公共交通機関の利用促進などの省エネ・省資源型生活の推進。省エネルギー機器への移行、次世代自動車インフラの整備	事業所、各家庭での節電や公共交通の利用、省エネ機器、次世代自動車の普及などによる化石燃料の使用削減、温室効果ガスの排出の抑制	2 地球温暖化防止対策の推進
3	消費者から安全・安心な農産物が求められる中、	化学合成肥料・農薬の使用量を削減し、堆肥等の利用による環境に配慮した営農活動を支援すると共に、遊休農地を利用した水田ビオトープを設置する等、	多様な生物の育みと環境と調和のとれた持続可能な農業を進め、より安全・安心な農産物の生産を図る。	1 豊かな自然・農山漁村環境の継承
4	現況の3火葬場は老朽化しているため、	環境にやさしく、安定した火葬業務が行える最新設備の火葬場を整備することで	適正な必要業務が行えるようにする。	4 火葬場の整備
5	狂犬病予防接種の未接種、堀川浄化施設の老朽化、騒音、振動、悪臭といった日常生活の中での公害等がある中で、	狂犬病予防接種の周知啓発、堀川浄化施設の維持管理、公害への迅速的確な対応を図ることで、	市民が安心して快適に暮らせる環境を確保する。	1 豊かな自然・農山漁村環境の継承
6	災害の大型化、蜂による被害が多発する中で、	消毒剤の常備等災害に備えるとともに、蜂の防護服を整備することで、	市民が安心して快適に暮らせる環境を確保する。	3 自然環境に配慮した公共事業の実施

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時(H17)		後期基本計画作成時(H20)		直近年度実績値(現状)		目標(H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
豊かな環境を継承します	京丹後市一斉クリーン作戦の実施	0回/年間	H17	0回/年間	H20	1回/年	H25	2回/年間	H26	
	京丹後市美しいふるさとづくり条例重点区域箇所	4か所	H17	4か所	H20	4か所	H25	10か所	H26	
	自然観察会開催回数	新規	-	2回/年間	H20	2回/年間	H25	5回/年間	H26	
	自然環境調査の実施	新規	-	0回/年間	H20	0回/年間	H25	2回/年間	H26	

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		直近年度実績値(現状)		目標		
				年度	年度	年度	年度	年度	年度	
京丹後市環境基本計画		自然環境調査回数(市が実施するもの)	豊かな自然を守り共生していくまち	0回	H20	0回	H25	2回	H30	
		自然観察会開催回数(市が主催、共催、後援するもの)		2回	H20	2回	H25	5回	H30	
		環境体験学習会開催回数(市が主催、共催、後援するもの)		1回	H20	3回	H25	5回	H30	
		間伐施行面積(年間)		31.0ha	H20	41.63ha	H24	40.0ha	H30	
		放置竹林伐採面積(H16以降の放置竹林拡大防止事業面積)		23.8ha	H20	0.37ha	H25	55.0ha	H30	
		生活排水処理率		34.0%	H20	49.20%	H25	76.3%	H30	
		久美浜湾のCOD濃度		3.2mg/l	H19	2mg/以下	H25	2mg/l以下	H30	
		久美浜湾の全窒素濃度		0.45mg/l	H19	0.3mg/l以下	H25	0.3mg/l以下	H30	
		京丹後市美しいふるさとづくり条例による重点区域数		4か所	H20	4か所	H25	10か所	H30	
		京丹後市一斉クリーン作戦の実施		0回	H20	1回	H25	2回	H30	
		エコファーマー認定数		豊かな財産を環境に生かすまち	94件	H20	129件	H25	147件	H30
		KES導入企業数			28事業所	H20	26事業所	H25	40事業所	H30
		エコ京都21認定数(地球温暖化防止部門)			1事業所	H20	1事業所	H25	3事業所	H30
		路線バス利用者数		低炭素社会に挑戦するまち	30.3万人	H20	38.3万人	H25	32万人	H30
		温室効果ガス排出量			27,278t-CO2	H16	31,359t-CO2	H24	京丹後市地球温暖化対策地域推進計画の策定にあわせ、現状値・目標値を設定	
まちづくり出前講座(環境関連)開催数		2回	H20	2回	H25	25回	H30			
環境保全リーダー認定数(市が認定する人数)	楽しく学びともに環境を育むまち	0人	H20	0人	H25	10人	H30			
こどもエコクラブ数		1団体	H20	1団体	H25	3団体	H30			
京丹後市地球温暖化対策実行計画		庁内や事業等で使用する電気使用量の削減率(H16年度比)		12,555t-CO2/年	H16	12.1%(11,046t-CO2/年)	H22	5.8%	H22	
		燃料使用量(庁内等での暖房用に使用する灯油)の削減率(H16年度比)		158t-CO2/年	H16	△5.1%(166t-CO2/年)	H22	1.2%	H22	
		燃料使用量(事業等で使用する灯油)の削減率(H16年度比)		2,360t-CO2/年	H16	46.9%(1,254t-CO2/年)	H22	11.8%	H22	
		燃料使用量(給湯器やガスコンロに使用するLPG)の削減率(H16年度比)		21t-CO2/年	H16	14.2%(18t-CO2/年)	H22	7.5%	H22	
		燃料使用量(事業等で使用するLPG)の削減率(H16年度比)		562t-CO2/年	H16	2.8%(546t-CO2/年)	H22	8.4%	H22	
		燃料使用量(事業等で使用する重油類)の削減率(H16年度比)		1,903t-CO2/年	H16	3.3%(1651t-CO2/年)	H22	8.5%	H22	
		燃料使用量(事業等で使用する軽油)の削減率(H16年度比)		61t-CO2/年	H16	24.6%(46t-CO2/年)	H22	9.7%	H22	
		燃料使用量(公用車燃料)の削減率(H16年度比)		699t-CO2/年	H16	8.7%(638t-CO2/年)	H22	4.6%	H22	
		一般廃棄物の焼却量(一般廃棄物(ごみ)の焼却量)の削減率(H16年度比)		286t-CO2/年	H16	11.1%(254t-CO2/年)	H22	8.5%	H22	
		一般廃棄物の焼却量(うち、廃プラスチックの焼却量)の削減率(H16年度比)		6,315t-CO2/年	H16	△12.9%(7,130t-CO2/年)	H22	11.5%	H22	
		市の事務・事業活動に伴う温室効果ガス排出の削減率(H16年度比)		27,278t-CO2/年	H16	9.1%(24,795t-CO2/年)	H22	8.8%	H22	

施策方針	事務事業		予算額(単位:千円)		事務事業の概要								施策評価結果		
	事業内容(実績)	担当課	H25決算額	H26予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値 説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性	
1 豊かな自然・農山漁村環境の継承	1 狂犬病予防・動物管理事業	市民課	637	718	義務	府・一部	含む	-	-	-	-	5	A	現状維持	
	狂犬病の予防接種・動物管理におけるマナー等の啓発(登録2,534頭、予防接種1,954頭)														
	2 堀川浄化施設維持管理事業	市民課	1,723	1,668(1,668)	なし	単費	○	維持管理	市民	委	7	生活維持確保	5	A	現状維持
	生活排水処理施設「堀川浄化槽施設」(久美浜町)の維持管理														
	3 公害対策事業	市民課	987	1,226(1,226)	府規定	単費	○	サービス	市民	直・委	6	生命財産権利保護	5	A	現状維持
	野焼きや騒音・振動・悪臭等の苦情等に対し、府、自治会等と市が連携して解決に向けた対応を実施														
	4 地域循環型農業支援事業	農政課	1,994	2,000(2,000)	市規定	単費	○	サービス	事業者	補	4	民間補充福祉増進	3	A	現状維持
	環境に配慮した有効な資材購入に対して補助金を交付(たい肥57件)														
	5 コウホリもすめるさとづくり支援事業	農政課	611	878(878)	市規定	単費	○	サービス	団体	補	3	個性魅力	3	A	現状維持
	遊休水田を利用した水田ビオトープの設置管理への取組に対し補助金を交付(8件)														
6 環境保全型農業直接支払交付金事業	農政課	2,993	5,074(2,419)	国規定	府・一部	含む	サービス	事業者	補	4	民間補充福祉増進	1	A	現状維持	
環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、補助金を交付(58件)															
7 環境保全活動事業	環境バイオマス推進課	850	908(908)	市規定	単費	○	サービス	団体	直・補	3	個性魅力	1	A	現状維持	
環境保護団体活動への補助金交付(1件)、はだしのコンサート開催に対して補助金交付															
8 環境保全意識啓発事業	環境バイオマス推進課	40	80(80)	なし	単費	○	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	1	B	現状維持	
水生生物調査(参加者105人)・内山ブナ林観察会(2回、参加者45人)の実施															
9 環境基本計画推進事業【方針2にも該当】	環境バイオマス推進課	186	316(316)	なし	単費	○	内部管理	-	-	-	-	1	A	拡大	
環境基本計画推進委員会の開催(2回)及び環境学習の開催(10回、参加者159人)															
10 環境衛生一般経費	環境バイオマス推進課	1,814	1,554(1,554)	なし	単費	○	内部管理	-	-	-	-	1,2	B	現状維持	
環境衛生事業の推進に必要な経費、関連団体への負担金等															
2 地球温暖化防止対策の推進	1 環境首都創造自治体全国フォーラム開催事業	環境バイオマス推進課	-	1,495(1,495)	平成26年度新規事業										
	環境首都創造ネットワークに加盟する自治体首長等が出席し、ディスカッションや自治体環境先進事例発表会を実施														
	2 避難施設緊急時電力確保促進事業【明許繰越】【Ⅱ-②にも該当】	環境バイオマス推進課	-	65,837(137)	平成25年度事業の全部を繰り越して実施する事業										
	非常時の避難施設において最小限の電力を確保できるよう再生可能エネルギー設備を導入														
	3 省エネ・グリーン化推進事業【Ⅱ-②にも該当】	環境バイオマス推進課	430	5,204(5,204)	なし	単費	○	維持管理	市民	直	7	生活維持確保	2	B	現状維持
LED街路灯等導入促進事業(防犯灯1,697基、道路灯147基)															
4 省エネ・グリーン化推進事業【明許繰越】【Ⅱ-②にも該当】	環境バイオマス推進課	3,431	-	なし	国府全額	-	維持管理	市民	直	7	生活維持確保	2	B	現状維持	
市管理分の街路灯等の現状把握調査とLED導入計画の策定															
5 環境基本計画推進事業【再掲】方針1	環境バイオマス推進課	186	316(316)	なし	単費	○	内部管理	-	-	-	-	1	A	拡大	
環境基本計画推進委員会の開催(2回)及び環境学習の開催(10回、参加者159人)															
3 自然環境に配慮した公共事業の実施	1 防疫対策事業	市民課	144	192(192)	国規定	単費	○	サービス	市民	直	7	生活維持確保	6	A	現状維持
害虫駆除に係る蜂駆除用防護服の市民への貸出し															
4 火葬場の整備	1 火葬場管理運営事業	市民課	-	1,049(1,049)	平成26年度新規事業										
	平成27年4月の供用開始に備え、新火葬場の適正な維持管理等に関する経費														
	2 網野火葬場管理運営事業	市民課	5,732	6,675(3,675)	市規定	単費	○	サービス	市民	直・委	7	生活維持確保	4	A	終了・廃止
	網野火葬場の維持管理、火葬執行・霊柩車の運行管理(火葬場使用件数194件)														
	3 久美浜火葬場管理運営事業	市民課	5,703	5,789(3,389)	市規定	単費	○	サービス	市民	直・委	7	生活維持確保	4	A	終了・廃止
	久美浜火葬場の維持管理、火葬執行・霊柩車の運行管理経費(火葬場使用件数167件)														
	4 火葬場建設事業	市民課	217,716	865,769(57,269)	国規定	単費	含む	施設整備	市民	直・委	7	生活維持確保	4	A	拡大
新火葬場建設に係る用地造成(擁壁)及び上下水道接続に係る工事を実施し建築主体工事等にも着手															
5 火葬場建設事業【明許繰越】	市民課	10,631	-	国規定	単費	○	施設整備	市民	委	7	生活維持確保	4	A	拡大	
新火葬場建設に係る建築設計、上下水道接続に係る設計を実施															
6 火葬場建設事業【通次繰越】	市民課	-	254,990(12,790)	平成25年度事業の一部を繰り越して実施する事業											
平成25年度事業の一部を繰り越して実施する事業															
7 竹野川斎場管理運営事業	衛生センター	13,670	14,108(6,708)	市規定	単費	○	サービス	市民	直・委	7	生活維持確保	4	A	終了・廃止	
竹野川火葬場の維持管理、火葬執行・霊柩車の運行管理経費(火葬場使用件数531件)															
計			269,292	1,235,530(102,957)											

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成27~29年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	コウホリもすめるさとづくり支援事業を廃止する。	879千円	日本型直接支払制度(多面的機能支払)に移行

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	04狂犬病予防・動物管理事業											
細事業名	01 狂犬病予防・動物管理事業			決算書 P.178											
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目 ① 自然環境の保全と創造											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額											
637千円	685千円	48千円	92.9%	685千円											
目的	狂犬病予防法第5条第1項の規定により、狂犬病予防注射を実施し、狂犬病の発生を予防する。ペットの適正飼育や、動物管理マナーの啓発を行い、動物管理マナーの向上を図る。														
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市内50会場で狂犬病予防の巡回予防接種を実施するとともに、狂犬病予防注射未実施の飼い主へ予防注射実施の催促を行った。(飼い主756人、785頭) ペットの放し飼いやフンの始末など動物管理に対する苦情に対して、京都府と連携して飼い主へ個別に対応し、啓発を行った。 京都府と連携し、動物愛護教室を行い、動物との共生についての学習を行った。(郷小学校、吉野小学校、網野北小学校、間人小学校、網野みなみ保育所)</p> <p>○旅費 10千円 ・職員出張旅費</p> <p>○需用費 89千円 ・消耗品費(犬鑑札210枚、予防注射済票2,350枚等) 57千円 ・印刷製本費(通知文送付用封筒3,200枚) 32千円</p> <p>○役務費 195千円 ・通信運搬費(予防注射実施案内及び再通知郵送料)</p> <p>○委託料 343千円 ・狂犬病予防注射注射済票引渡事務委託料</p> <p>犬の登録件数及び狂犬病予防注射実施件数</p> <table border="1"> <tr> <td>犬の登録数</td> <td>2,534頭</td> </tr> <tr> <td>狂犬病予防注射接種件数</td> <td>1,954頭</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内訳</td> <td>市実施件数</td> <td>827頭</td> </tr> <tr> <td>獣医委託件数</td> <td>1,116頭</td> </tr> <tr> <td>その他(市外)</td> <td>11頭</td> </tr> </table> <p>狂犬病予防注射受診率 H25 77.1%、 H24 77.7%、 H23 73.8%</p>				犬の登録数	2,534頭	狂犬病予防注射接種件数	1,954頭	内訳	市実施件数	827頭	獣医委託件数	1,116頭	その他(市外)	11頭
犬の登録数	2,534頭														
狂犬病予防注射接種件数	1,954頭														
内訳	市実施件数	827頭													
	獣医委託件数	1,116頭													
	その他(市外)	11頭													
主な財源	手数料 犬の登録注射業務手数料	498千円													
	府補 動物管理指導費補助金	139千円													
評価・課題等	<p>○予防注射未実施犬の飼い主への啓発文書を送付することで、死亡した犬の情報把握と、登録原簿の整理を行うことができ、事務の効率化を図ることができた。</p> <p>○予防注射実施の通知や広報、未届転出者の把握、登録抹消を進めることにより、犬の登録・狂犬病予防注射の受診率の向上を図るとともに、正しい飼養方法の普及や飼い主の自主的な動物管理マナーの向上も図っていく必要がある。</p>														
事業所管課	市民部/市民課														

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	05堀川浄化施設維持管理事業
細事業名	01 堀川浄化施設維持管理事業			決算書 P.178
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,723千円	1,724千円	1千円	99.9%	1,622千円
目的	堀川浄化施設の維持管理を行うことにより、久美浜町一区内約65世帯の生活雑排水が流れ込む「堀川（法定外河川）」の環境保全を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>「堀川浄化施設」の維持管理として、施設の保守点検、消毒剤の充填、水路の清掃、水質検査及び汚泥の処理等を行った。</p> <p>【堀川浄化施設】 久美浜町一区地内の堀川河口部から、上流部約180mの範囲における約65世帯の生活雑排水を浄化処理し、久美浜湾へ放流する施設。（平成6年設置） （200人槽、長期ばっ気式、処理能力：40m³/日、用途：雑排水下水路）</p> <p>○需用費 660 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費（堀川浄化施設の電気・水道料金） 555 千円 ・修繕料（照明器具の取替、街路灯の撤去等） 105 千円 <p>○委託料 1,063 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀川浄化施設保守管理委託料 （施設保守点検、消毒剤充填、水路清掃、水質検査、汚泥処分等） 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○久美浜湾に直接流入していた家庭雑排水を処理することができ、久美浜湾の環境保全を図ることができた。</p> <p>○公共下水道への接続促進と並行して、老朽化しつつある本施設の適切な維持管理を行っていく必要がある。</p>			
事業所管課	市民部／市民課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	08公害対策費	01公害対策事業	
細事業名	01 公害対策事業				決算書 P.182
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
987千円	1,089千円	102千円	90.6%	1,089千円	
目的	野焼きや騒音・振動・悪臭などの苦情等に対し、京都府、自治会等とも連携を図りつつ解決に向けた対応を行うことにより、公害の発生と被害を抑制する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>◎野焼き 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく行政指導を5件行った。</p> <p>◎騒音・振動・悪臭 騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく対応ができない事案に対しては、当事者間の調整、相談窓口の案内等を5件行った。</p> <p>◎水質・大気汚染 水質汚濁防止法、大気汚染防止法に基づく京都府の対応に2件協力した。</p> <p>◎自動車騒音の常時監視（H25.12～H26.3 国道178号線） 騒音規制法第18条に基づき自動車騒音の常時監視及び面的評価業務を行い、本市内での騒音暴露状況は環境基準値以下の数値であることを確認した。</p> <p>○旅費 20 千円 ・職員出張旅費</p> <p>○委託料 957 千円 ・草刈委託料（網野町小浜地内樋越川 年1回） 49 千円 ・水質検査委託料 89 千円 （峰山町：大系川、風呂川、小西川、大谷川 網野町：三原川 年1回） ・自動車騒音常時監視面的評価業務委託 819 千円</p> <p>○使用料及び賃借料 10 千円 ・酸性雨測定地土地借上料（弥栄町田中地内100m²）</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○公害防止及び苦情案件に対し、迅速かつ適正に対応することができた。</p> <p>○騒音や悪臭等に関する苦情が継続して発生しているため、公害防止に向けた広報をより積極的に行っていく必要がある。</p> <p>○自動車騒音常時監視面的評価業務を専門業者に委託し実施することができ、結果についても問題なかった。</p>				
事業所管課	市民部／市民課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	04生物多様性を育む農業推進事業																									
細事業名	01 地域循環型農業支援事業			決算書 P.212																									
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造																									
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																									
1,994千円	2,000千円	6千円	99.7%	2,000千円																									
目的	堆肥及び有機肥料・緑肥・液肥等の活用及び普及を図り、環境低負荷型農業を推進する。																												
主要な事務・事業及び成果の概要	環境低負荷型農業を推進するため、堆肥等資材の購入経費の支援を行った。																												
	<p>○環境低負荷型農業促進対策事業費補助金 1,994千円</p> <p>堆肥等（堆肥、液肥、油粕等）を利用して農産物の生産を行う農業者及び組織等に対し、購入経費の一部を助成した。</p> <table border="1" data-bbox="265 950 964 1380"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">環境低負荷型農業促進対策事業</th> </tr> <tr> <th>対象件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>8件</td> <td>284千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>10件</td> <td>262千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>7件</td> <td>150千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>9件</td> <td>290千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>9件</td> <td>251千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>14件</td> <td>757千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>57件</td> <td>1,994千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	環境低負荷型農業促進対策事業		対象件数	補助金額	峰山町	8件	284千円	大宮町	10件	262千円	網野町	7件	150千円	丹後町	9件	290千円	弥栄町	9件	251千円	久美浜町	14件	757千円	合計	57件
区分	環境低負荷型農業促進対策事業																												
	対象件数	補助金額																											
峰山町	8件	284千円																											
大宮町	10件	262千円																											
網野町	7件	150千円																											
丹後町	9件	290千円																											
弥栄町	9件	251千円																											
久美浜町	14件	757千円																											
合計	57件	1,994千円																											
主な財源																													
評価・課題等	環境に配慮した農業に取り組む農業者の負担軽減を支援することにより、安心安全な農作物の生産と環境低負荷型農業を推進することができた。																												
事業所管課	農林水産環境部／農政課																												

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	04生物多様性を育む農業推進事業																								
細事業名	02 コウノトリもすめるさとづくり支援事業			決算書 P.212																								
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目 ① 自然環境の保全と創造																								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																								
611千円	692千円	81千円	88.2%	692千円																								
目的	自然環境や生物多様性に配慮した取り組みの重要性を認識・実践することで、多様な生物が共生する豊かな田園・里山の環境整備を図り、生物多様性を育む農業を推進する。																											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>水田ビオトープの設置管理により、生物多様性と環境意識の向上を図った。</p> <p>○報償費 生物多様性を育む農業推進セミナー講師謝金 12千円 生物多様性を育む農業推進セミナー ・3月14日(金)開催 ・参加人数 70人</p> <p>○旅費 11千円</p> <p>○コウノトリもすめるさとづくり支援事業補助金 586千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>取組面積</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>2件</td> <td>171 a</td> <td>189千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>1件</td> <td>90 a</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>1件</td> <td>27 a</td> <td>41千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>4件</td> <td>180 a</td> <td>256千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8件</td> <td>468 a</td> <td>586千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	件数	取組面積	補助金額	峰山町	2件	171 a	189千円	大宮町	1件	90 a	100千円	弥栄町	1件	27 a	41千円	久美浜町	4件	180 a	256千円	合計	8件	468 a	586千円
区分	件数	取組面積	補助金額																									
峰山町	2件	171 a	189千円																									
大宮町	1件	90 a	100千円																									
弥栄町	1件	27 a	41千円																									
久美浜町	4件	180 a	256千円																									
合計	8件	468 a	586千円																									
主な財源																												
評価・課題等	地域の農家を巻き込んだ取り組みとなり、環境意識の向上が図られた。また、水田の活用による農環境の保全につながり、生物多様性を育む農業を推進できた。																											
事業所管課	農林水産環境部／農政課																											

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	13環境保全型農業直接支払交付金事業																				
細事業名	01 環境保全型農業直接支払交付金事業			決算書 P.214																				
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																				
2,993千円	2,997千円	4千円	99.8 %	4,998千円																				
目的	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援し、生物多様性を育む農業の普及推進を図る。																							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援することで、生物多様性を育む農業の振興につながった。</p> <p>○環境保全型農業直接支払交付金事業 2,743千円</p> <p>化学肥料・化学合成農薬の使用を地域の慣行レベルから5割以上低減する活動とあわせて、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動及び有機農業に取り組む場合に対し、4千円/10aを交付。(別途、国から同額を農家に直接交付)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組内容</th> <th>件数</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5割低減+カバークロープ</td> <td>16件</td> <td>255千円</td> <td>638a</td> </tr> <tr> <td>5割低減+冬期湛水管理</td> <td>37件</td> <td>2,152千円</td> <td>5,379a</td> </tr> <tr> <td>有機農業</td> <td>5件</td> <td>336千円</td> <td>839a</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>2,743千円</td> <td>6,856a</td> </tr> </tbody> </table> <p>○環境保全型農業直接支払交付金事業推進事務費 250千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務補助業務人材派遣委託料 (H26年3月分: 1人) 138千円 その他経費 (旅費、消耗品費、通信運搬費等) 112千円 				取組内容	件数	補助金額	備考	5割低減+カバークロープ	16件	255千円	638a	5割低減+冬期湛水管理	37件	2,152千円	5,379a	有機農業	5件	336千円	839a	合計		2,743千円	6,856a
取組内容	件数	補助金額	備考																					
5割低減+カバークロープ	16件	255千円	638a																					
5割低減+冬期湛水管理	37件	2,152千円	5,379a																					
有機農業	5件	336千円	839a																					
合計		2,743千円	6,856a																					
主な財源	府補 環境保全型農業直接支払交付金 (1/2以内)			1,371千円																				
	府補 環境保全型農業直接支払交付金 (定額)			250千円																				
評価・課題等	<p>○化学肥料・農薬を低減し、地球温暖化防止や生物多様性保全につながる農業生産活動を支援することで、取組件数の増加、農業分野における環境保全と意識の向上につながった。</p> <p>○事業開始から3年が経過し、取組件数、面積の増加率が低くなっているため、積極的に広報等を行い事業拡大を図る必要がある。</p>																							
事業所管課	農林水産環境部/農政課																							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	03環境美化保全対策事業
細事業名	01 環境保全活動事業			決算書 P.178
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
850千円	850千円	0千円	100.0%	938千円
目的	市民や事業者及び市が一体となった美しいふるさとづくり活動を支援し、市域の豊かな自然環境保全や環境美化活動を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 美しいふるさとづくり条例環境保護団体活動補助金 130 千円 条例に基づき、特別保護区域である琴引浜において環境保護団体が実施するパトロール活動（海水浴シーズンの土日祝日、2人1組で午前・午後の2回/日）を支援した。 はだしのコンサート2013補助金 720 千円 鳴き砂の浜の保全活動について、その必要性を理解していただく契機としてコンサートを開催しており、「拾った海岸ゴミが入場券」というユニークな形態をとっている。平成25年度で20周年となり、長期にわたり地域主体での取組となっている。この自然環境保全についてのメッセージと本市の魅力を市の内外に発信するイベントに対して支援した。 <p>実施日：平成25年6月1日（土）～2日（日） 参加者：約4,500人</p>			
主な財源				
評価・課題等	○豊かな自然環境のもとで存在する「鳴り砂の浜」において、地域が主体的に行う環境保全意識啓発のイベントを支援することで参加者への意識啓発、並びに市の内外へ自然豊かな市の魅力と環境保全の大切さを広くアピールすることができた。 ○条例に基づき、環境保護団体に対し支援を行うことで、豊かな自然環境を保全することができたものの、次代を担うスタッフの確保・養成が課題である。			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	07環境保全意識啓発事業
細事業名	01 環境保全意識啓発事業			決算書 P.178
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
40千円	40千円	0千円	100.0%	104千円
目的	市の豊かな自然に触れる機会を提供し、自然環境保全意識の啓発・向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○ブナ林観察会 36千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新緑の内山ブナ林観察会 開催日：平成25年5月12日（日） 参加者：22人 講師（ブナ林案内人）：3人 補助員：2人 ・紅葉の内山ブナ林観察会 開催日：平成25年11月10日（日） 参加者：23人 講師（ブナ林案内人）：3人 補助員：2人 <p>○子ども体験活動講師謝金 4千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金 @4,000円×1人×1回（7月26日分） ・活動内容：水生生物調査（小学生対象）の実施 平成25年7月26日（金） 峰山町鱒留川（31人） 平成25年7月31日（水） 峰山町鱒留川（40人） 平成25年8月10日（土） 峰山町鱒留川（34人） ※府職員出前・語らい講座活用 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○水生生物調査については、児童を対象に水生生物調査や水質検査を行うことにより、自然環境保全への意識向上、啓発を行うことができた。また、京都府丹後保健所や市教委との連携により、経費節減などが図れた。</p> <p>○ブナ林観察会について、市の木であるブナの原生林の魅力と環境保全の意義を伝えることができた一方で、個別に観察される方もあり、事業への参加者は減少傾向にある。開催時期や情報発信方法など、より効果的な環境学習機会の提供、意識啓発事業の実施に向け検討が必要である。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	15環境基本計画推進事業
細事業名	01 環境基本計画推進事業			決算書 P.180
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目 ① 自然環境の保全と創造
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
186千円	186千円	0千円	100.0%	349千円
目的	環境基本計画を推進するための市環境基本計画推進委員会を設置し、市民・事業者・市民団体・旅行者等への環境保全意識等の普及・啓発を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>環境基本計画に基づく施策の推進及び進捗状況の点検を行うため、環境基本計画推進委員会を開催し、市民・事業者・市民団体・旅行者・行政の取組の連携や促進に関して協議を行った。</p> <p>○環境基本計画推進委員会開催経費 102千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画推進委員謝金（開催2回） 委員：16人 <ul style="list-style-type: none"> 第2回（5/23） 12人×4,000円 48千円 第3回（11/22） 10人×4,000円 40千円 ・委員費用弁償 14千円 <p>○環境学習推進業務委託料 84千円</p> <p>地域における環境学習を開催する業務をNPO法人エコネット丹後に委託した。</p> <p>開催回数 10回 参加者数 159人</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○計画期間の当初5年間を期間とし、基本施策の中でも、総合的かつ横断的な推進が必要なものを重点プロジェクトに位置付けた。その一環として、環境学習の開催やウルトラマラソン大会前日に、河川の上流から下流まで流域全体で環境について考える契機とする「第2回水をつなぐクリーン大作戦」などを実施し、環境保全意識等の普及・啓発を推進することができた。</p> <p>○平成25年度で重点プロジェクトの実施期間は終了するが、実施が十分でなかった項目もあることから、今後も委員会を中心にプロジェクトの在り方や継続的な取組方法を検討する。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	50環境衛生一般経費
細事業名	01 環境衛生一般経費			決算書 P.182
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,814千円	1,844千円	30千円	98.3 %	1,259千円
目的	環境衛生事業の円滑な推進に必要な一般経費、関連団体への負担金等			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>事務用品などの購入、出張旅費の支出、公用車の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費（普通旅費） 638千円 ・需用費 539千円 <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費 14千円 燃料費 335千円 公用車等修繕料 190千円 ・役務費（自動車登録手数料、自動車保険料） 206千円 ・委託料（バス運転委託料 ※丹後環境シンポジウム発表児童送迎） 8千円 ・使用料及び賃借料（自動車借上料、有料道路通行料、駐車場使用料） 241千円 ・負担金、補助及び交付金 152千円 <ul style="list-style-type: none"> 丹後の豊かな環境づくり推進会議負担金 142千円 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年少女エコ体験ツアー（参加者：24人） 実施日：平成25年8月19日（月） 会 場：世屋高原家族旅行村しおぎり荘 ・丹後環境シンポジウム（参加者：約300人） 実施日：平成26年2月2日（日） 会 場：みやづ歴史の館文化ホール </div> <ul style="list-style-type: none"> バイオガス推進協議会負担金 10千円 ・公課費（自動車重量税） 30千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○適切な事務執行により、環境衛生事業を円滑に実施することができた。</p> <p>○民間委員を主体とする丹後の豊かな環境づくり推進会議への参加により、関係団体や他の自治体との連携強化と環境衛生事業の推進を図ることができた。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	11地球温暖化防止対策推進事業									
細事業名	02 省エネ・グリーン化推進事業			決算書	P.178								
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造								
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額									
430千円	430千円	0千円	100.0%	0千円									
目的	リース方式によりLED化した市管理分の防犯灯・道路灯を維持管理し、温室効果ガスの排出抑制と市の歳出削減を図る。												
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成24年度からの繰越事業として実施したLED街路灯等導入調査（市管理分の街路灯等の現状把握調査及びLED導入計画の策定）の結果に基づきLED化した防犯灯・道路灯のリース料を支払った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リース料金内訳 LED取替工事及び施工監理／電力使用変更手続き／10年間のリース契約期間内における維持管理を含めた包括的サービスの提供 ・防犯灯：1,697基 道路灯：147基 計：1,844基 ・リース開始：平成26年3月1日 ・リース期間：120か月（10年間） ・リース料：429,450円/月 <p>①年間消費電力削減見込量</p> <table> <tr> <td>防犯灯</td> <td>124,610kWh</td> </tr> <tr> <td>道路灯</td> <td>112,336kWh</td> </tr> </table> <p>②年間温室効果ガス削減見込量</p> <table> <tr> <td>防犯灯</td> <td>64.05 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>道路灯</td> <td>57.74 t-CO2</td> </tr> </table>					防犯灯	124,610kWh	道路灯	112,336kWh	防犯灯	64.05 t-CO2	道路灯	57.74 t-CO2
防犯灯	124,610kWh												
道路灯	112,336kWh												
防犯灯	64.05 t-CO2												
道路灯	57.74 t-CO2												
主な財源													
評価・課題等	<p>○環境省の補助事業の活用及び電気料金削減相当額を財源とするリース方式の採用により、多額の費用を要することなくエネルギー消費の少ない高効率機器の導入ができた。また広く市民の目に触れる防犯灯・道路灯を消費電力の少ないLEDへ切り替えたことにより、温室効果ガスの排出を抑制するとともに、市民・事業者への省エネ機器普及へのPRができた。</p> <p>○温室効果ガスの排出抑制に向け、歳出削減とのバランスを図りながら、公共施設の設備・機器に温室効果ガスの削減効果の高い機器等の導入を促進する必要がある。</p>												
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課												

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	11地球温暖化防止対策推進事業	
細事業名	02 省エネ・グリーン化推進事業（繰越）			決算書	P.178
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額	
3,431千円	4,280千円	849千円	80.1%	4,280千円	
目的	市が管理する街路灯等のLED化に向けた現状把握調査と導入計画の策定を行い、多額の初期費用をかけずに、温室効果ガスの排出抑制（低炭素社会の実現）を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成24年度に国の補正予算に計上された環境省の「地球温暖化対策推進事業費補助金」の採択を受け、市管理分の街路灯等の現状把握調査及びLED導入計画の策定業務を行ったもの。</p> <p>なお、国庫補助金の採択にあたり、5,000灯以上の更新という採択要件を満たすため、宮津市と共同提案を行い採択を受けたものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LED街路灯等導入調査業務委託料 3,431千円 ■ 業務内容 <ul style="list-style-type: none"> ①街路灯等（市が管理する防犯灯、道路灯、公園灯）の現状把握（数量、電力使用量、維持管理費、温室効果ガスの排出量算出など） ②LED照明の導入数量、導入コストの算出等、LED街路灯等導入計画の策定に必要な分析業務 ③維持管理も含め、契約期間を10年としたリース方式によるLED街路灯等導入計画の策定業務 				
主な財源	国補	地球温暖化対策推進事業費補助金（10/10）			3,430千円
評価・課題等	環境省の補助事業を活用し、市管理分の防犯灯・道路灯のLED化に向けた調査並びに導入計画を作成することができた。				
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	01防疫対策事業
細事業名	01 防疫対策事業			決算書 P.176
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
144千円	190千円	46千円	75.7%	190千円
目的	京丹後市地域防災計画の災害応急対策計画に基づき、防疫対策を実施することにより、疫病の未然防止等を図る。また、安全な害虫駆除のため備える。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>害虫駆除として、ハチ駆除用防護服の貸出しを行った。ハチの防護服については、古くなっているものから順次更新しており、また汚れのひどいものはクリーニングを行い、貸出しに備えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 9千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 6千円 ・燃料費 3千円 ○役務費 9千円 <ul style="list-style-type: none"> ・手数料（ハチ防護服クリーニング） ○備品購入費 126千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ハチ駆除用防護服1着（峰山市民局配置） 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○各市民局にハチ防護服を備えて市民に貸出し、安全な害虫駆除の支援に役立てることができた。</p> <p>○ハチ防護服の摩耗や経年劣化による老朽化が進んでおり、今後も計画的に更新していく必要がある。</p>			
事業所管課	市民部／市民課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	02網野火葬場管理運営事業																				
細事業名	01 網野火葬場管理運営事業			決算書 P.184																				
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																				
5,732千円	5,833千円	101千円	98.2 %	6,334千円																				
目的	火葬場の維持管理、火葬執行及び霊柩車運行委託の管理業務を行う。																							
主要な事務・事業及び成果の概要	火葬による焼骨と、収骨後の残骨灰の適切な処理を行うとともに、施設の老朽化に伴う火葬炉及びバーナーの不良箇所の修繕を行った。																							
	○共済費	・労災保険料（臨時職員1人分）	27千円																					
	○賃金	・臨時職員賃金（火葬作業、周辺整備作業）	2,413千円																					
	○需用費		2,191千円																					
		・消耗品費（消石灰、ろうそく、線香等）	29千円																					
		・燃料費（灯油）	1,187千円																					
		・光熱水費	86千円																					
		・修繕料（火葬炉内のライニング修繕、バーナー修理等）	889千円																					
	○役務費		91千円																					
		・通信運搬費（電話代）	30千円																					
	・手数料（臨時職員健康診断）	9千円																						
	・保険料（共済保険料：建物、自動車）	52千円																						
○委託料		1,010千円																						
	・残骨灰処理委託料	70千円																						
	・霊柩車運行業務委託料（延べ163回）	873千円																						
	・雑木伐採委託料	67千円																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>火葬場使用料</th> <th>対前年度増減率</th> <th>火葬件数</th> <th>対前年度増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>2,781千円</td> <td>△ 0.9%</td> <td>194件</td> <td>0.5%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2,806千円</td> <td>△ 2.1%</td> <td>193件</td> <td>△ 1.0%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>2,867千円</td> <td>17.1%</td> <td>195件</td> <td>14.0%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	火葬場使用料	対前年度増減率	火葬件数	対前年度増減率	H25	2,781千円	△ 0.9%	194件	0.5%	H24	2,806千円	△ 2.1%	193件	△ 1.0%	H23	2,867千円	17.1%	195件	14.0%
年度	火葬場使用料	対前年度増減率	火葬件数	対前年度増減率																				
H25	2,781千円	△ 0.9%	194件	0.5%																				
H24	2,806千円	△ 2.1%	193件	△ 1.0%																				
H23	2,867千円	17.1%	195件	14.0%																				
主な財源	使用料 火葬場使用料	2,781千円																						
評価・課題等	<p>○施設の適切な維持管理に努め、火葬業務を適正に執行することができた。</p> <p>○火葬炉設備の老朽化が進む中、新火葬場稼働までの間、安定稼働ができるように修繕及び維持管理に努める必要がある。</p>																							
事業所管課	市民部／市民課																							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	04久美浜火葬場管理運営事業																					
細事業名	01 久美浜火葬場管理運営事業			決算書	P.186																				
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																					
5,703千円	5,726千円	23千円	99.5 %	5,555千円																					
目的	火葬場の維持管理、火葬執行及び霊柩車運行委託の管理業務を行う。																								
主要な事務・事業及び成果の概要	火葬による焼骨と、収骨後の残骨灰の適切な処理を行うとともに、施設の老朽化に伴う火葬炉等の不良箇所の修繕を行った。																								
	<ul style="list-style-type: none"> ○共済費 ・ 労災保険料（臨時職員1人分） 26 千円 ○賃金 ・ 臨時職員賃金（火葬作業、周辺整備作業） 2,094 千円 ○需用費 2,165 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品費（ステンレス製五徳、消石灰、ろうそく、線香等） 147 千円 ・ 燃料費（A重油） 1,279 千円 ・ 光熱水費 321 千円 ・ 修繕料（炉内耐火レンガ交換、霊柩車車検） 418 千円 ○役務費 117 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 通信運搬費（電話代） 34 千円 ・ 手数料（臨時職員健康診断、自動車登録手数料等） 28 千円 ・ 保険料（共済保険料：建物、自動車） 55 千円 ○委託料 1,276 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 残骨灰処理委託料 63 千円 ・ 霊柩車運行業務委託料（延べ159回） 1,213 千円 ○公課費 25 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車重量税 																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>火葬場使用料</th> <th>対前年度増減率</th> <th>火葬件数</th> <th>対前年度増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>2,461千円</td> <td>7.9%</td> <td>167件</td> <td>8.4%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2,280千円</td> <td>△ 0.7%</td> <td>154件</td> <td>△ 3.8%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>2,295千円</td> <td>△ 1.1%</td> <td>160件</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	火葬場使用料	対前年度増減率	火葬件数	対前年度増減率	H25	2,461千円	7.9%	167件	8.4%	H24	2,280千円	△ 0.7%	154件	△ 3.8%	H23	2,295千円	△ 1.1%	160件	0.0%	
年度	火葬場使用料	対前年度増減率	火葬件数	対前年度増減率																					
H25	2,461千円	7.9%	167件	8.4%																					
H24	2,280千円	△ 0.7%	154件	△ 3.8%																					
H23	2,295千円	△ 1.1%	160件	0.0%																					
主な財源	使用料 火葬場使用料			2,461千円																					
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の適切な維持管理に努め、火葬業務を適正に執行することができた ○火葬炉設備の老朽化が進む中、新火葬場稼働までの間、安定稼働ができるように修繕及び維持管理に努める必要がある。 																								
事業所管課	市民部／市民課																								

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	05火葬場建設事業				
細事業名	01 火葬場建設事業			決算書 P.186				
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目 ① 自然環境の保全と創造				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額				
217,716千円	472,812千円	255,096千円	46.0%	492,245千円				
目的	新火葬場建設のための事業を推進する。							
主要な事務・事業及び成果の概要	新火葬場整備のため、用地造成（擁壁）工事、上下水道管渠布設工事を行った。また、建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事に着手した。							
	<ul style="list-style-type: none"> ○施工監理委託料 6,030 千円 (建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事) ○工事請負費 209,072 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・用地造成（擁壁）工事 25,443 千円 ・上下水道管渠布設工事 46,329 千円 ・建築主体工事 100,000 千円 ・機械設備工事 14,300 千円 ・電気設備工事 23,000 千円 ○負担金 2,345 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・水道加入分担金 164 千円 ・電力引込工事負担金 2,181 千円 ○旅費、手数料 269 千円 							
	参考	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>逓次繰越額を除いた最終予算額</td> <td style="text-align: right;">217,822千円</td> </tr> <tr> <td>実質的な執行率</td> <td style="text-align: right;">99.9%</td> </tr> </table>		逓次繰越額を除いた最終予算額	217,822千円	実質的な執行率	99.9%	
逓次繰越額を除いた最終予算額	217,822千円							
実質的な執行率	99.9%							
	<ul style="list-style-type: none"> ■平成26年度への繰越事業 254,990 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・施工監理委託（平成27年1月完成予定） 810 千円 ・建築主体工事（平成26年10月完成予定） 194,724 千円 ・電気設備工事（平成26年9月完成予定） 31,979 千円 ・機械設備工事（平成26年9月完成予定） 27,477 千円 							
主な財源	市債	火葬場整備事業債（合併特例債）		206,800千円				
評価・課題等	平成26年度には、建設主体工事等を完成させるとともに、火葬炉設備工事及び外構関係工事を着実に完成させる必要がある。							
事業所管課	市民部／市民課							

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	05火葬場建設事業	
細事業名	01 火葬場建設事業（繰越）			決算書	P.186
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	① 自然環境の保全と創造
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 繰越予算額	
10,631千円	10,632千円	1千円	99.9%	10,632千円	
目的	新火葬場建設のための事業を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>【明許繰越事業分】</p> <p>新火葬場建設のための建築設計及び建設用地までの上下水道本管布設のための管渠測量、詳細設計を行った。</p> <p>○設計委託料 10,631 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築設計業務委託 3,370 千円 ・ 上下水道管渠測量、詳細設計業務委託 7,261 千円 				
主な財源	市債 火葬場整備事業債（合併特例債）			10,000千円	
評価・課題等	建築設計と上下水道管渠布設設計を平成25年5月に完了することができ、工事に備えることができた。				
事業所管課	市民部／市民課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費	03竹野川斎場管理運営事業																				
細事業名	01 竹野川斎場管理運営事業			決算書 P.184																				
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	① 自然環境の保全と創造																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																				
13,670千円	13,797千円	127千円	99.0%	13,092千円																				
目的	火葬場の維持管理、火葬執行及び霊柩車の運行管理業務を行う。																							
主要な事務・事業及び成果の概要	火葬による焼骨と、収骨後の残骨灰の適切な処理を行うとともに、施設の老朽化に伴う火葬炉等の不良箇所の修繕を行った。																							
	<ul style="list-style-type: none"> ○共済費 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員労災保険料 65千円 ○賃金 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金(火葬業務2人) 5,232千円 ○需用費 5,132千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(棺架台用ステンレス製五徳、消石灰等) 156千円 ・燃料費、光熱水費 2,970千円 ・修繕料(火葬炉及び煙道、霊柩車修繕等) 2,006千円 ○役務費 155千円 <ul style="list-style-type: none"> ・通信費(電話代) 34千円 ・手数料(臨時職員健康診断手数料) 29千円 ・保険料(建物火災保険料、霊柩車(2台)損害保険料) 92千円 ○委託料 3,012千円 <ul style="list-style-type: none"> ・残骨灰処理委託料(残骨灰埋葬量2t) 143千円 ・霊柩車運行業務委託料(412回) 2,812千円 ・その他施設管理委託料(施設清掃、庭木剪定等) 57千円 ○その他(テレビ受信料、清掃用具借上料) 74千円 																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>火葬場使用料</th> <th>対前年度増減率</th> <th>使用件数</th> <th>対前年度増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>7,389千円</td> <td>1.6%</td> <td>544件</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>7,273千円</td> <td>0.5%</td> <td>527件</td> <td>△0.8%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>7,237千円</td> <td>3.9%</td> <td>531件</td> <td>2.3%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	火葬場使用料	対前年度増減率	使用件数	対前年度増減率	H25	7,389千円	1.6%	544件	3.2%	H24	7,273千円	0.5%	527件	△0.8%	H23	7,237千円	3.9%	531件	2.3%
年度	火葬場使用料	対前年度増減率	使用件数	対前年度増減率																				
H25	7,389千円	1.6%	544件	3.2%																				
H24	7,273千円	0.5%	527件	△0.8%																				
H23	7,237千円	3.9%	531件	2.3%																				
主な財源	使用料 火葬場使用料			7,389千円																				
評価・課題等	<p>○火葬場の使用件数は、前年に比べてわずかに増加した。施設管理は衛生センター職員で兼務し、霊柩車運行は全て委託することにより、火葬の執行を適切に行うことができた。</p> <p>○火葬炉設備の老朽化が進む中、新火葬場稼働までの間、安定稼働ができるように修繕及び維持管理に努める必要がある。</p>																							
事業所管課	市民部/衛生センター																							